

MANGA

その
マンガが
きみを
ひらく！



©板垣田／秋田書店 ©Mine Yoshizaki／KADOKAWA
 ©金城野幸・村俊介／講談社 ©田中眞／集英社
 ©青山剛昌／小学館 ©Hiromu Arakawa／SQUARE ENIX
 ©緑川き／白泉社 ©臼井儀人／双葉社

主催：一般財団法人出版文化産業振興財団（JPIC）

共催：マンガ感想文コンクール実行委員会

協力：コミック出版社の会

協賛：秋田書店／アルファポリス／KADOKAWA／講談社／集英社／小学館／スクウェア・エニックス／
 白泉社／双葉社／日本図書普及株式会社

KANSOUBUN

2024年度審査員からのメッセージ



マンガを言葉にする 楽しさと難しさ

吉村和真教授

「マンガって面白いよね」とか「あの場面が好き」とか、マンガの魅力について家族や友達と話した経験がある人は多いでしょう。なかには推し活のキャラクターがいる人もいますよね。たしかに作品の絵柄にストーリー展開、キャラクターに世界観など、マンガの魅力はさまざまに存在します。

ですが、「マンガはどこがどんなふうに面白いのか」とか「なぜあの場面にこんなに感動してしまうのか」という具合に、好きな作品やマンガそのものについて深く考え、それを言葉にするのは、決して簡単な作業ではありません。なぜならマンガには、絵と文字だけ

でなく、コマ割りやふきだし、独特な記号や擬音語など、多種多様な要素が入り混じっているため、その魅力を詳しく説明しようとしても、なかなか「かゆいところに手が届かない」からです。

もちろんそれは、別の表現にも通じるかもしれません。ただし、アニメや映画など、人と一緒に観たり、放映時間が決まっていたりするものに比べると、マンガの場合、読む時間の速さや頁をめくる順番など、自分で自由にできる幅が広いので、より「私ならではの読書体験」になりやすいのです。

そういうわけで、このコンクールには、マンガへの関心や愛着を持つ人にとって、自分の言葉や文章を豊かにするためのヒントや、相手に「自分の好き」を伝えることの楽しさを味わうチャンスが詰まっています。

ぜひ、あなたならではのマンガ感想文をお待ちしています。

プロフィール

1971年福岡県生まれ。京都精華大学マンガ学部教授・学校法人京都精華大学理事長。専門は思想史・マンガ研究。主な著書に『マンガの教科書—マンガの歴史がわかる60話』（臨川書店、2008年）、『マンガノミカター創作者と研究者による新たなアプローチ』（樹村房、2021年）など。マンガ研究の環境を整備するために、日本マンガ学会や京都国際マンガミュージアムの設立に奔走する。一日三食の食事と同じように、毎日マンガを読みながら、マンガの歴史やマンガが人間に与える影響について研究している。

応援メッセージ



まだ見ぬあなたに 出会う旅

矢部太郎さん

このマンガ感想文コンクールで、過去に僕のマンガについて書いた作品が入賞したことがありました。その感想文を読ませてもらう機会があり、僕はとても嬉しく感動しました。自分のマンガを通じて感じたことや、考えたことを言葉で表現してくれたこと、そしてなによりも、書いた人と出会い、深くつながれた気がして感動したのです。

感想文というものは、そのマンガを誰かに伝えたい！ その誰かのために書く。そういうものだと思います。でも僕は「誰かのために」だけではないと思うんです。感想文は「あなた自身のために」書くのだと思います。

感想文を書くには、マンガを読んで、好きだー！面白い！と思うだけでなく、そのマンガのどこが好きなのか？何を面白いと思ったのか？を考えることになります。キャラクター、ストーリー、セリフ、何があなたにとって特別だったのでしょうか。次にあなたは、なぜ好きなのか？なぜ良いと思ったのか？ということを考えることになります。なぜあなたは心を動かされたのか？自分の今の気持ちや、過去の経験を振り返ることにもなるかも知れません。楽しいことだけではなく、つらいこと、悲しいことが理由になるのかも知れません。作品について深く考えることは、自然にあなた自身について考えることにもなるのです。

マンガを読むだけでなく、言葉にするという旅は、マンガを深く理解するとともに、まだ見ぬあなたに出会う旅なのです。旅路の中であなたが見つけた言葉が、あなたの大好きなマンガとあなた自身を照らし出すことを楽しみにしています！

プロフィール

1977年生まれ。東京都出身。芸人・漫画家。2018年、初めて描いた漫画『大家さんと僕』（新潮社）で手塚治虫文化賞短編賞を受賞。『大家さんと僕 これから』『ぼくのお父さん』『プレゼントでできている』（すべて新潮社）、『案屋のトナくん』（講談社）、『マンガぼけ日和』（かんき出版）など著書多数。俳優としてはNHK大河ドラマ『光る君へ』で乙丸役を好演。

2024年度受賞者のコメント

高等学校の部
グランプリ

後藤初音さん

読んだマンガ
森下 suu 著
『ゆびさきと恋々』
(講談社刊)

このたびグランプリをいただくことができて大変嬉しく思っております。『ゆびさきと恋々』は言葉の大切さを教えてくれた私の大好きなマンガです。『ゆびさきと恋々』は耳が聞こえない子が主人公ですが、手話で伝える言葉にはあたたかさを感じます。感想文でもそれを感じていただけたら嬉しいです。

私が感想文を書いたきっかけは、マンガを読むことを否定された経験があったからでした。好きなものを否定されてしまっても、自信を持って好きであり続けたい。そんな気持ちも感想文に込めています。『ゆびさきと恋々』の言葉や魅力が、私の感想文を通して届いていれば幸いです。

※部門・受賞者の学年区分は2025年3月当分のものです。
受賞作品はコチラから→manga-kansoubun.jp

応募者の声



身近なテーマが多いので、
自分の気持ちをそのまま表現できました



どれだけマンガに励まされているかを、
伝えられてよかった



マンガの編集者さんにも
読んでもらえてうれしかった



感想を書くことで、
あらためてマンガっていいなとおもった



いつも家族でマンガを共有して
楽しんでいるので、書きやすかったです

Q&A

「マンガのえらび方がわからない」「どんなことを書けば良いの？」などの疑問に答えます。

Q1 マンガのえらび方をおしえて!

マンガが好きな家族や友だちに、おすすめを聞いてみましょう。自分ではえらばないジャンルにチャレンジしてみると、世界が広がるかもしれません。図書館や書店で、話題になっている作品を手にとってみるのもいいですね。パンフレットの「おすすめマンガ」も名作ぞろいです。ぜひ気持ちを動かされる一冊に出会ってください!

Q2 「感想文」ってむずかしい?

このコンクールは、感想文にかぎらず、手紙・エッセイなど書き方は自由です。大切なのは、感動や発見をほかの人に伝えられる、「あなたのことば」を見つけること。まずは、いいなと思ったところや発見があったことを、読みながらどんどんメモしましょう。そのメモを見ながら、あなたが一番伝えたいと思ったことをふくらませてください。

Q3 決められた字数以内なら、何文字でも大丈夫?

たくさんのことばを使って人に伝えることはとても大切ですが、このマンガ感想文コンクールは自分の考えや気持ちをきちんと表現できていれば、字数いっぱいでも構いません。決められた字数の中で、自分が納得できるまで書ききってみてください。

Q4 絵も一緒に提出していい?

「大好きな気持ちを表現したいな」「絵もあったほうが言いたいことが伝えやすいな」と思ったら、ぜひ描いてみてください。(描かなくても審査には影響しません) 感想文とは別の用紙を使って、必ず裏面に名前を記入してください。

Q5 感想文を書いたあとは?

下書きが終わったら、次の点に気を付けて読み直してみましょう。

- ☐ 誤字・脱字(文字のまちがいや抜け)がないか
- ☐ 自分の感じたことや想いが書けているか
- ☐ 原稿用紙の使い方はあっているか

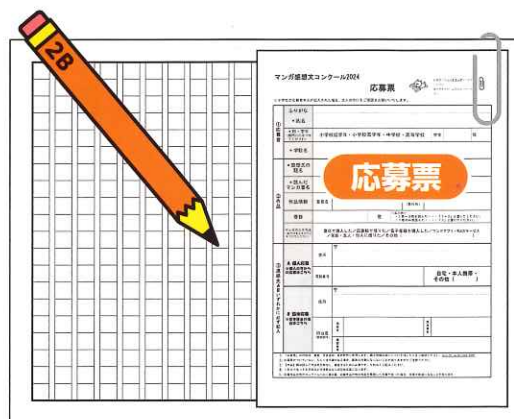
手書きの場合は2B以上の筆記用具で、原稿用紙にはっきりていねいに清書してください。(郵送応募の場合) 必ず「応募票」を記入し、原稿用紙にクリップでとめて提出しましょう。

※作品を複数まとめて送る場合は作品ごとに応募票をつけクリップでとめてください。
※作品にホチキス・のりは使わないでください

原稿用紙に
2B以上の筆記用具で手書き

または

文書作成ソフトを使用して作成



※原稿用紙の両面書きは不可。

応募前に、もう一度チェック!

- ☐ 氏名、感想文の題名が書いてあるか
- ☐ (郵送の場合) 応募票と作品がクリップでとめてあるか

教員の方へ

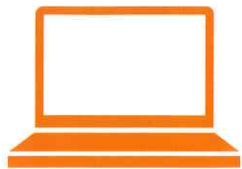
団体応募(学校単位の応募)はWEB応募が便利です!

団体応募の作業工数を大幅に削減! 教員側からの応募状況確認が可能!

保護者・教員も代理応募できるため応募時の不備が少ない!

STEP.1

学校(クラス)の情報を登録



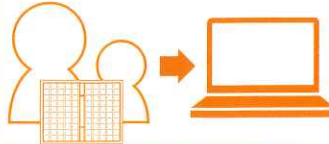
STEP.2

専用応募フォームの二次元コードを取得して児童・生徒に通知



STEP.3

児童・生徒もしくは保護者が作品をアップロード



※学校のほか、塾・フリースクールなど、さまざまな教育・活動団体からのご応募も受け付けます。

応募要項

2025より
WEB応募
受付開始!

対象マンガ

マンガの裏表紙または巻末に ISBN で始まる数字が記載されているもの、電子書籍の場合は正規配信版が対象となります。学習マンガ（歴史や科学などの教科学習を文章ではなくマンガにしたもの）を除きます。複数巻あるマンガは、全巻でも、その中の1巻でも応募可能です。

応募資格および文字数

- ①小学校低学年の部（1～3年生） 400～800字以内
- ②小学校高学年の部（4～6年生） 800字以内
- ③中学校の部（1～3年生） 1200字以内
- ④高等学校の部（1～3年生） 1600字以内

※特別支援学校はそれぞれの対応する部に、中等教育学校および中高一貫校の前期課程は中学校の部に、後期課程は高等学校の部に、義務教育学校はそれぞれの学年に対応する小学校の各部および中学校の部に応募してください。※学校のほか、塾・フリースクールなど、さまざまな教育・活動団体からのご応募も受け付けます。

応募受付期間

▶ 郵送

2025年7月1日(火)～9月12日(金)※必着

▶ WEB応募

2025年7月1日(火)～9月15日(月・祝)

応募先

▶ 郵送

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町2-2-30 4F
JPIC「マンガ感想文コンクール」事務局

▶ WEB応募

マンガ感想文コンクールホームページ
(<https://www.manga-kansoubun.jp>)

応募手順

公式ホームページからダウンロードした指定の原稿用紙（市販品も可）に、自筆もしくは文書作成ソフトで作成してください。（絵を加えての応募もできます。作品と別の用紙で提出してください）

▶ 郵送の場合

1. 応募票をホームページからダウンロードして、必要事項を記入してください。
2. 作品1通ごとに、応募票1票が必要です。原稿用紙のうえにクリップでとめてください。

※ホチキス・のりは使わないでください。

（注意）応募票に不備がある場合、審査対象外となる場合があります。

▶ WEB応募の場合

1. 応募サイト上の申込フォームに、必要事項を入力してください。
2. 作品（原稿用紙）をアップロードしてください。

※応募票は不要です。

応募作品

●応募は日本語で書かれた作品に限ります。●一人何通でも応募できます。●応募は個人のオリジナルで未発表の作品に限ります（生成 AI による作文や不適切な引用があった場合、受賞が取消となる場合があります）。●他のコンクール、コンテストとの二重応募は認めません。●応募作品は返却しません。必要に応じて控えをお取りください。

表彰

グランプリ…各部門1名
特別賞…各部門より若干名
団体賞…応募数、作品内容を考慮し
若干団体（10名以上の応募があった
団体が選考対象となります）

入賞者には、賞状、オリジナル図書
カード（グランプリ3万円分、特別
賞1万円分）を贈呈します。団体賞
の入賞団体には、賞状・記念品を贈
呈いたします。



※2024年度の記念品

入賞発表

入賞は2026年2月頃に本人・保護者の方宛に通知します。

※団体からの応募および個人への連絡が難しい場合など、在籍校に連絡することがあります。2026年3月、入賞者を招待し都内にて授賞式を予定しています。
※荒天など今後の動向により中止・延期する可能性があります

応募作品について

応募された方の作品・氏名・学校名・学年は、主催者の刊行物やWEBサイトのほか、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、書籍、教材、出版物など各種媒体で使用・公表することがあります。

お問い合わせ

E-mail : manga@jpica.or.jp

後援:

文化庁 / 北海道教育委員会 / 青森県教育委員会 / 岩手県教育委員会 / 宮城県教育委員会 / 秋田県教育委員会 / 山形県教育委員会 / 福島県教育委員会 / 茨城県教育委員会 / 栃木県教育委員会 / 群馬県教育委員会 / 埼玉県教育委員会 / 千葉県教育委員会 / 東京都教育委員会 / 神奈川県教育委員会 / 新潟県教育委員会 / 福井県教育委員会 / 山梨県教育委員会 / 長野県教育委員会 / 岐阜県教育委員会 / 静岡県教育委員会 / 愛知県教育委員会 / 三重県教育委員会 / 滋賀県教育委員会 / 大阪府教育委員会 / 兵庫県教育委員会 / 奈良県教育委員会 / 和歌山県教育委員会 / 鳥取県教育委員会 / 島根県教育委員会 / 岡山県教育委員会 / 広島県教育委員会 / 山口県教育委員会 / 徳島県教育委員会 / 香川県教育委員会 / 愛媛県教育委員会 / 高知県教育委員会 / 福岡県教育委員会 / 佐賀県教育委員会 / 長崎県教育委員会 / 熊本県教育委員会 / 大分県教育委員会 / 宮崎県教育委員会 / 鹿児島県教育委員会 / 沖縄県教育委員会 / 富山県教育委員会 / 金沢市教育委員会 / 京都市教育委員会

一般社団法人 日本書籍出版協会 / 一般社団法人 日本雑誌協会 / 一般社団法人 日本出版取次協会 / 日本書店商業組合連合会 / 公益社団法人 読書推進運動協議会 / 公益財団法人 文字・活字文化推進機構

マンガ感想文コンクール2025特設サイト
2025年7月 OPEN
manga-kansoubun.jp

